

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2006-69685 (P2006-69685A)

【公開日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報 2006-011

【出願番号】特願 2004-251887 (P2004-251887)

【国際特許分類】

B 6 5 H 31/34 (2006.01)

B 6 5 H 29/52 (2006.01)

B 6 5 H 31/26 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/34

B 6 5 H 29/52

B 6 5 H 31/26

G 0 3 G 15/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 28 日 (2007.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

搬送されてきたシートが積載される積載手段と、

前記積載手段に積載された前記シートのシート搬送方向に沿った側部をシート搬送方向と交差する方向に押圧して整合する 1 対の整合部材と、

前記 1 対の整合部材による整合動作時の前記シートの浮き上がりを防止する浮き上がり防止手段と、を備え、

前記 1 対の整合部材のうち少なくとも一方は、前記積載手段上に搬送されたときの前記シートのシート搬送方向に沿った側部からシート搬送方向と交差する方向に離れた待機位置と前記シートを整合する整合位置との間を移動可能な移動整合部材であり、

前記浮き上がり防止手段は、前記移動整合部材が待機位置にいるとき前記シートを受け入れる位置にあり、前記移動整合部材が整合位置へ移動しているとき前記シートの浮き上がりを防止する位置に移動することを特徴とするシート幅整合装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記浮き上がり防止手段が、前記 1 対の整合部材による整合動作時の前記シートの浮き上がりを防止する浮き防止部材を備え、

前記浮き防止部材は、前記移動整合部材が待機位置と前記シートを整合する位置との間を移動している間に送り込まれてきた後続シートが通過できるよう回動可能に前記移動整合部材に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のシート幅整合装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記浮き防止部材が、前記シート搬送方向に回転可能であることを特徴とする請求項 5 に記載のシート幅整合装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記浮き防止部材の上方に設けられ、搬送されてきたシートの上面を案内する上ガイド部材を備え、前記上ガイド部材は前記浮き防止部材の先端を前記上ガイド部材のガイド面から上方に突出させる先端逃がし部を有していることを特徴とする請求項 6 に記載のシート幅整合装置。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

上記目的を達成するため、本発明のシート幅整合装置は、搬送されてきたシートが積載される積載手段と、前記積載手段に積載された前記シートのシート搬送方向に沿った側部をシート搬送方向と交差する方向に押圧して整合する 1 対の整合部材と、前記 1 対の整合部材による整合動作時の前記シートの浮き上がりを防止する浮き上がり防止手段と、を備え、前記 1 対の整合部材のうち少なくとも一方は、前記積載手段上に搬送されたときの前記シートのシート搬送方向に沿った側部からシート搬送方向と交差する方向に離れた待機位置と前記シートを整合する整合位置との間を移動可能な移動整合部材であり、前記浮き上がり防止手段は、前記移動整合部材が待機位置にいるとき前記シートを受け入れる位置にあり、前記移動整合部材が整合位置へ移動しているとき前記シートの浮き上がりを防止する位置に移動するようになっている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明のシート幅整合装置は、前記浮き上がり防止手段が、前記 1 対の整合部材による整合動作時の前記シートの浮き上がりを防止する浮き防止部材を備え、前記浮き防止部材は、前記移動整合部材が待機位置と前記シートを整合する位置との間を移動している間に送り込まれてきた後続シートが通過できるよう回動可能に前記移動整合部材に設けられている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

図 2 に示した、排紙処理装置 40 は、加熱定着器 11 (図 1) により排出されたシート S を、矢印 A 方向から受け取り、中間ローラ対 43 により中間積載部 44 上に排出した状態になっている。シート S は、複数の押え部材 48 (48a 乃至 48e) により、下方方向に付勢されて、中間ローラ対 43 で後端まで排出された時点で確実に中間積載部 44 に落下させられる。シートが落下した状態で、ジョガー 49 は、図 2、図 5 (a) に示すシート搬送領域 (AR) 外の待機位置に待機している。この状態で、パドル 50 が、図 1 において時計方向に回転して、シートを搬送方向と反対方向に引き戻して、中間ローラ対 43 の下にある縦整合基準壁 61 (図 1、図 3) にシートの後端を突き当てる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

そこで、シートがジョガー 149 の待機位置 α よりはみ出ているか否かを、図 10 に示すように、検知手段としてのセンサ 109 をジョガー 149 に設けることによって検知することができる。すなわち、センサ 109 は、検知片としてのサブジョガー 104 が符号 104a で示す状態か、符号 104b で示す状態かを検知するようになっている。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

すなわち、ジョガー 149 が待機位置 α にいるとき、センサ 109 が、サブジョガー 104 が符号 104b の状態になっていることを検知したとき、シートは斜行してジョガー 149 の待機位置 α よりも幅方向外側へはみ出ていることになる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0085

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0085】

S 1	先行シート
S 1 a	先行シートの側部
S 2	後続シート
S 2 a	先端
G P	ジョガー 149 と上ガイド 100 との間隙
1	プリンタ (画像形成装置)
1 A	プリンタ (画像形成装置) の装置本体
9	画像形成プロセスユニット
10	感光ドラム (画像形成手段)
40	排紙処理装置
44	中間積載部 (積載手段)
49	ジョガー (移動整合部材、1 対の整合部材)
62	浮き上がり防止機構 (浮き上がり防止手段)
63	横整合基準壁 (1 対の整合部材)
64	支点
65	ガイド部材 (回動部材)
65 a	上面

6 7	レバー
6 8	カム（作動部材）
1 0 0	<u>上ガイド</u>
1 0 4	サブジョガー（回動部材、検知片、 <u>浮き防止部材</u> ）
1 0 5	支点
1 0 6	くぼみ（ <u>先端逃がし部</u> ）
1 0 7	基本給紙パスライン
1 0 8	ジョガーの上面部
1 0 9	センサ（検知手段）
1 4 9	第 2 実施形態のジョガー
1 6 0	第 2 実施形態のシート幅整合手段